

# 校長室だより



真岡東中 校長室だより

No. 132

2020/01/17/Fri

防災とボランティアの日 立志式まで18日

後鳥羽天皇、院政を開始 1198年

鎌倉の鶴岡八幡宮が焼失 1821年

イラクへ空爆、湾岸戦争開戦 1968年

阪神淡路大震災 午後5:46発生 1995年

チーム東…生徒・家庭・教職員へ向けての校長通信

高め合い、磨き合い、感動し合い、「愛」いっぱいの真岡東中に！

真岡東中学校HPでもご覧いただくことができます

君は大丈夫ですか？視力・むし歯・それから…

## 視力1.0未満の小中高生の割合が過去最高に！

### ～文科省2019年度学校保健統計調査(速報値)から～

年末、ショッキングなニュースの一つが「裸眼視力が1.0未満の小中高生の割合が、過去最悪に！」というものでした。

これは、文部科学省の2019年度学校保健統計調査(速報値)で分かったことです。今回の調査で裸眼の視力が1.0未満だったのは、小学生が34.57%、**中学生が57.47%**、高校生が67.64%で、いずれも過去最悪の結果となりました。同省では「スマートフォンやパソコンの画面を見たり、近い距離で読書をしたりすることが一定の影響を与えている可能性がある」と分析しています。さらに同省では、「来年度に数千人規模の実態調査を初めて行い、対応策を検討する」としています。

他の調査項目を見ると、アレルギー性鼻炎など**鼻・副鼻腔疾患**は、**中学生で12.10%**と、これも過去最悪だったそうです。

一方、**むし歯**は減少傾向が続いており、**中学生34.00%**、高校生43.68%と過去最低を更新しています。これについては「学校での歯磨き指導や、家庭での歯の健康に対する意識の高さなどが背景にあるのでは…」と分析しています。



視力検査の様子

#### 真岡東中学校の視力

- ①本校の生徒の裸眼の視力が1.0未満
  - ・男子44%
  - ・女子56%
- ②裸眼の視力が1.0未満の3年生
  - ・男子58.3%
  - ・女子63.8%

左記のように、本校生徒の視力は、全国平均より良い結果となっています。しかし、安心できるような結果ではないかと思われれます。特に、女子の視力低下が心配なところです。

また、学年が上がるにつれて視力は低下していることが本校の3年生の結果を見ても明らかです。全国的な傾向ですが、年齢が上がることも

目を酷使していることが分かります。受験勉強も大変な時期ではありますが、姿勢を良くしたり明るい環境で学習したりするなど目の負担が少なくなるよう気を付けましょう。

本校生徒の歯の状態は、とても心配です。全国平均よりかなりむし歯が多いという結果になっています。昨年度よりは減少しているので、さらに虫歯を減らしていくよう予防と治療をしていきましょう。

#### 真岡東中学校のむし歯

- ①むし歯あり 49.4%(うち20.2%治療済)
- ②歯垢付着 62.4%

歯垢の付着については栃木県平均29.5%(全国調査の結果はない)を大きく上回り、これがむし歯のできる温床にもなっているかと思われれます。歯が痛むと勉強どころか何も手をつけられなくなるほど集中力がなくなってしまう。むし歯は受験生の敵でもあります。3年生でむし歯がある生徒は、しっかり治療して入試に臨みたいものです。

**今週は全学年とも「学力UP！」へ！成長の好機！**

## **3年生は受験勉強、1・2年生は実力テスト！**



真剣に問題を解く姿

今週、3年生は私立高校の入試・合否の発表・次の受験の準備…と「受験シーズン」のピークを迎えていました。緊張の連続と言えるでしょう。そんな中、前向きに受験勉強に取り組んでいる姿が何とも言えず、教室の横を通ると心の中で「がんばれ！」と声援を送っています。

また、1・2年生は、今まで学習した内容の総復習となる「実力テスト」に臨んでいました。出題範囲が冬休みの宿題になっていたこともあり、冬休みの学習の成果を出す機会でもあったことでしょう。

**困難を乗り越える力**… 私たちは、自分の思いどおりの結果にならなかったとき、あるいは困難に直面したとき、ともすれば悲観したり不平不満を抱いたり、場合によっては自暴自棄に陥ったりしがちです。もちろんその苦しみや悩みは、味わった本人にしか分からないものでしょう。しかし、その苦しみや悩みを通して、家族との深い絆や自分を支えてくれている友達や先生など多くの人たちの恩恵に、改めて気付くことがあります。

そのとき、私たちは困難を乗り越える勇気と前向きに生きていく力を得ることができるのではないのでしょうか。

どのような困難も、それを成長の好機と受け止め、前向きな気持ちで歩いていきたいものです。だから…気持ちがへこんでも前を向いて進んでいこう！

## **校長講話(12/18)世界中がHappy Xmasに！〜ジョンレノン&ローマ教皇&中村哲〜②**

世界には平和に穏やかに暮らすことができない国があり、大人たちが起こした戦争で幼い子どもたちが犠牲になってしまう国もある。中村さんなどは世界を平和にしようとして活動し、他人がしないようなことができるなんてすごいと思いました。(1-3)

昨年この歌を聴いたけど、2回目を聴いてみると、よりこの曲の伝えたいことや内容を理解できた。今まで少しでも嫌なことがあると「最悪！」と言ってしまうけど、三度の食事が食べられ、家族と一緒に穏やかに過ごせているから幸せだと気づき、これからは簡単に言わないようにしようと思った。(2-2)

毎日当たり前前にしていることは当たり前前ではなく、良い環境があるからだと改めて感じました。普通に生活しているこの日常が幸せなんだなと思いました。中村医師は現地の人々のことを最優先に考えていました。私も幅広い視野をもって周りの人に気を配れるようになりたいです。(3-3)

中村さんはなぜ殺されなければならなかったのか分からない。武器に使われているお金を水・食料に変えたらどれだけの量になるのか、それによりどれだけの人の命をつなぐことができるのか、とても考えさせられました。日本は戦争はないが、国によっては、いつ爆弾が降ってくるか分からない。改めて日本の平和のありがたさが分かりました。絶対、給食を残さないようにしたいです。(2-1)

3年生になってHappy Xmasを和訳できるようになりました。簡単な歌詞ですが「戦争」をすることによって人々が幸せになることはないこと。沢山の人の命が犠牲になること。そして戦争がなくなることによりいかに世界が平和なところになるかを改めて知りました。さらにローマ教皇、中村哲さんの話を聴いて「戦争をすれば苦しい思いをする人がいるのに何で武力を使うのだろう？」「コミュニケーションを取って平和を求めようとしませんか？」と深く考えさせられました。(3-2)